

心臓リハビリテーションNEWS-第50号記念号-

2015年6月に当院心臓リハビリが開設されて、まもなく10年となります。この間、大きな事故もなく、地域の先駆けとして多くの心疾患患者に関わる事ができました。10年前開設にあたり、今地域に求められている医療は何かを考えました。心疾患を含む内部障害のリハビリは高齢化に伴い増加している中で、心臓という難しい分野ではありましたが、挑戦していくことが、地域で選ばれることになるという想いで歩んできました。次の10年に向け、どうすれば選ばれ続けるかを追求して前に進んでいきます。

初めは内藤Dr・櫻田・須藤PTの3名で今の1Fリハビリ室で開始しました

2020年10月より3Fに心臓リハビリ室が移りました。スペースが広くなり、積極的に外来リハを拡大しました。

急性期の心不全患者でも超早期から心臓リハビリ実施

10年間毎週欠かさず心肺運動負荷試験を行っています。

B-SES・てらすエルゴなど早期からの心臓リハビリに役立つ機器導入

自宅生活を見据えた心臓リハビリ

多職種で患者教育

リハ栄養と心臓リハビリ

心臓リハビリテーション指導士の育成を進めてきました。難易度の高い試験ですが、スタッフのやりがいや自信にもつながっています。

血圧を下げる方法2

スタッフ全員で新人をサポート

県外でも積極的に発表

班会や講演活動もやっています

2025年1月28日発行 心臓リハビリテーション運営会議